

尿路がんの経過を予測する因子の探索的研究のお知らせ

帝京大学医学部附属病院では以下の研究を行います。

本研究は、倫理委員会の審査を受け承認された後に、関連の研究倫理指針に従って実施されるものです。

研究期間： 2019年9月18日 ～ 2030年3月31日

〔研究課題〕 尿路上皮癌の予後予測に有用な因子の探索的研究

〔研究目的〕 帝京大学医学部附属病院泌尿器科では、泌尿器疾患の原因を明らかにし、正しく診断し、より有効な治療法を開発することを目標として、さまざまな研究を行っています。このような研究活動の基礎になるのが、実際に当科で診療を受けられた患者さんの診療録（カルテ）の情報や、尿・血液・病理検体などです。当科では、受診された患者さんを対象として、通常の検査を行った尿や血液・病理検体の残りを再解析し、また診療録に記録されている情報と照らし合わせて、当該疾患の診療に役立つ情報を取得し、医学の発展に貢献したいと考えています。

〔研究意義〕 尿路上皮癌（腎盂・尿管・膀胱・尿道がん）は、比較的まれで、有効なフォローアップ方法など、まだ解決していない問題が多い癌です。早期診断や再発のチェックが、尿や血液で可能となれば、診断や外来経過観察における患者さんの負担が大きく軽減できる可能性があります。

〔対象・研究方法〕 2000年1月1日から2024年12月31日までの期間に、帝京大学医学部附属病院泌尿器科で診療を受けられた尿路上皮癌（腎盂・尿管・膀胱・尿道がん）患者さんが対象です。検査に使用した尿・血液・切除検体の残余と、その患者さんの診療記録をもちいて研究をおこないます。

〔研究機関名〕 帝京大学医学部附属病院泌尿器科、病理診断科

〔個人情報の取り扱い〕 本研究は、過去の診療録と、検査に使用した尿・血液・病理検体の残りを使用する研究ですので、新たに患者さんに生じる負担はなく、生命・健康に直接影響を及ぼすこともありません。氏名・生年月日・ID番号などの個人情報はすべて**個人情報がわからないように加工**してから解析しますので、個人情報がもれることはありません。研究成果は、医学の発展のために学会発表や学術論文発表などをさせて頂くことはありますが、その際も個人の特定が可能な情報はすべて削除します。研究終了後、情報は帝京大学臨床研究センターにて10年保管の後に、試料は5年間保管後に破棄します。

〔その他〕 研究対象に該当するか否かにより、実際の診療内容に影響はすることなく、研究にご協力していただけない場合でも診療上の不利益を受けることはありません。また、ご協力いただける場合でも謝金等は発生いたしません。

対象となる患者様で、ご自身の検査結果などの研究への使用をご承諾いただけない場合や、研究についてより詳しい内容をお知りになりたい場合は、下記の問い合わせ先までご連絡下さい。

ご協力よろしくお願い申し上げます。

問 い 合 わ せ 先

研究責任者: 中川徹 帝京大学医学部泌尿器科学講座 主任教授

研究分担者: 金子智之 帝京大学医学部泌尿器科学講座 准教授

所属: 帝京大学医学部附属病院泌尿器科

住所: 東京都板橋区加賀 2-11-1 TEL: 03-3964-1211(代表) 〔内線 33709〕